

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 改革・創造みらい

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2  
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592  
HP:<http://kaikakumirai.com>  
E-mail:[info@kaikakumirai.com](mailto:info@kaikakumirai.com)

**【池田質問要旨】**申請・審査  
支給までに長い日数がかかる現状である。なるべく早く早く申請者に支給すべきと考  
えるが。  
コロナ禍にあって、県の  
要請によつて休業や時短に  
協力した飲食店に対して協  
力金を支給するこの事業は  
重要である。痛手を被つて  
いる飲食店に対し、早急に

## 【合津産業政策課長答弁要旨】

**[丸山 鶴光誘客課長答弁要旨]**  
関係事業者・団体と連携を密にして取り組む。  
大手だけではなく、中小

A photograph showing a monk in orange robes walking away from the camera down a paved path. The path is flanked by tall, slender trees and several traditional stone lanterns. In the background, a dark-roofed building is visible at the end of the path.

### 【奥之院への参道】

## 委員会質問概要

9月定例会本会議では私は一般質問を行いませんでした。所属会派の「改革

域化については、経営が困難となつてゐる現状は理解でりますが、水道料金の値上げも相定されます。住民への丁寧な説明を要望しました  
下さい。質問概要をお読み

を支えているのは大手だけではなく、ほとんどが中小の宿泊事業者であつたり、旅行代理店などの観光関連事業者である。手厚い支援が必要と考える。

年には、たった180人である。冬季オリンピックを開催した、NAGANOはまだまだ知られていないらしいと言わざるを得ない。こうした、身近で魅力ある観光資源を長野市とも連携して世界に発信すべきと考え

# 池田清の県政レポート

VOL.8



長野市青木島町大塚873-17

TEL (026) 283-0617 FAX (026) 283-0617 E-mail:gikai-21@gray.plala.or.jp

「上田長野地域の水道事業の広域化について」では長野市、上田市、千曲市、坂城町の首長から要請を受け、「上田長

野坂水道事業広域化研究会」を設立した。広域化の形態としては「事業統合」を中心に研究を進めるが池田委員のご指摘のように住民や各議会への説明を丁寧に行なってください。

## 9月定例会・産業観光企業 委員会における議論

うに努める。委託先は東部トップツアーズ(株)伊那支店委託金は事業費の約2%である。

事業者の役割の大きさについては十分承知している。様々な支援メニューは、口ナの感染拡大状況により実施時期が難しくな

### 3 上田・長野地域水道事業 広域化研究会について

**[池田質問要旨]** ウイズコナ・アフター、コロナの局面において、新たな観光資源の発掘も必要ではないか？ 2016年の善光寺宿坊の宿泊外国人はたった18名！

**[池田質問要旨] 住民や各議会への丁寧な説明が必要と考える。**

量の減少、施設の老朽化は理解できるが、住民や各議会への丁寧な説明が必要と考える。

**【小林公堂企業管理者答弁要旨】**住民や各議会への説明を行っていく。

2回目の研究会においては、広域化・広域連携における論点整理を行い、最も効果が大きいと考えられる「事業統合」を中心に研究を進めることとした。9月17日には関係3市1町の首長による水道施設の相互見学と意見交換を行った。

住民説明会等の開催、意見募集などの実施、議会等への説明などを丁寧に行つていく。

**愚直な思い** 今年の7月、56歳の妹の7回忌を済ませた。2017年7月、3回忌の節目を高野山の宿坊華定院で一泊し、奥之院ナイトツアーリーにも参加した。翌日には護摩を焚いてもらつた。国内有数の観光地でもある高野山は外国人にとつても人気がある。ストテンにランクインしている。2017年には83,000人を超えていた。食事の作法、浴衣の着方、風呂の入り方、英語のパンフレットが用意されていた。翻つて、

善光寺の宿坊は2016年の宿泊者はわずか180人とのこと。私が長野市会議員として本会議で質問した際の商工観光部長の答弁である。あまりに少なすぎる。風呂、トイレなど最小限の改修は必要と思われるが、一流ホテルのようなおもてなしを期待して来るわけではない。お朝事・お数珠頂戴などの異文化を体験することが目的なのである。

A large, hollowed-out tree trunk serves as a trash can in a park. The trunk is painted black and features a white rectangular sign with the Japanese characters "安心の蛇口" (Anchō no hekipro) written vertically. The sign is mounted on a wooden platform. In the background, there are trees with autumn foliage, a grassy area, and a paved walkway where people are walking. A small green structure is visible on the right.